

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2016年3月調査）

2016年4月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 調査結果の概要.....	3
2. 国内向け出荷量の動向.....	5
3. 輸送機関利用の動向.....	9
(1) 一般トラック.....	10
(2) 特別積合せトラック.....	11
(3) 宅配便.....	12
(4) 鉄道コンテナ.....	13
(5) 内航コンテナ.....	14
(6) 国内航空.....	15
4. 輸出入貨物量の動向.....	16
(1) 外資コンテナ ー輸出ー.....	17
(2) 外資コンテナ ー輸入ー.....	18
(3) 国際航空 ー輸出ー.....	19
(4) 国際航空 ー輸入ー.....	20
5. 在庫量と営業倉庫利用の動向.....	21
(1) 在庫量 ー原材料ー.....	22
(2) 在庫量 ー製品ー.....	23
(3) 営業倉庫保管量.....	24
6. 運賃・料金の動向.....	25
(1) 一般トラック運賃.....	26
(2) 特別積合せトラック運賃.....	27
(3) 鉄道コンテナ運賃.....	28
(4) 内航コンテナ運賃.....	29
(5) 国内航空運賃.....	30
(6) 営業倉庫保管料金.....	31
7. 物流コスト割合の動向.....	32

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2016年1～3月の実績と2016年4～6月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,072社からご協力をいただき、回答率は42.9%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	234	109	46.6
	繊 維 ・ 衣 服	111	36	32.4
	木 材 ・ 家 具	90	42	46.7
	パ ル プ ・ 紙	109	48	44.0
	化学・プラスチック	239	112	46.9
	窯 業 ・ 土 石	102	42	41.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	105	53.8
	金 属 製 品	128	57	44.5
	一 般 機 械	222	97	43.7
	電 気 機 械	333	123	36.9
	輸 送 用 機 械	251	106	42.2
	精 密 機 械	69	27	39.1
	そ の 他	167	64	38.3
	計	2,250	968	43.0
卸 売 業	生 産 財	124	51	41.1
	消 費 財	126	53	42.1
	計	250	104	41.6
合 計		2,500	1,072	42.9

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 調査結果の概要－

- 2016年1～3月実績（見込み）の国内向け出荷量『荷動き指数』は△11と再び悪化した。2016年4～6月見通しでは、△5と小幅な改善が見込まれるものの、足元において荷動きの盛り上がりはまだ期待しづらい状況にある。
- 業種別『荷動き指数』については、2016年1～3月実績（見込み）では、全15業種12業種において悪化し、プラスの業種はパルプ・紙と精密機械の2業種となった。2016年4～6月見通しでは、12業種において改善の動きがみられるが、プラスの業種は6業種にとどまる見込みである。
- 地域別『荷動き指数』については、2016年1～3月実績（見込み）では、7地域において悪化し、プラスの地域は九州・沖縄のみとなった。2016年4～6月見通しでは、全9地域において改善の動きがみられるが、プラスの地域は北海道、中国、九州・沖縄の3地域にとどまり、回復の足取りは依然として鈍い。
- 輸送機関別『利用動向指数』については、2016年1～3月実績（見込み）では全輸送機関において悪化の動きがみられ、全輸送機関で『利用動向指数』はマイナスを示した。2016年4～6月見通しでは、一般トラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ・RORO船において『利用動向指数』が改善方向に動くものの、引き続き全輸送機関で『利用動向指数』がマイナスとなる。
- 輸出入貨物量『荷動き指数』については、2016年1～3月実績（見込み）では、全輸送機関において悪化し、引き続き全輸送機関でマイナスを示した。2016年4～6月見通しでは、外貿コンテナの輸出、輸入において『荷動き指数』が改善する一方、国際航空の輸出で悪化し、国際航空の輸入では横ばいとなる。『荷動き指数』は引き続き全輸送機関でマイナスになり、荷動き減退の動きに変化はない。
- 在庫量と営業倉庫保管量の『動向指数』については、2016年1～3月実績（見込み）では、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量のすべてにおいて低下し、かつすべてマイナスとなった。2016年4～6月見通しでは、営業倉庫保管量において『動向指数』が横ばいで推移する一方、原材料在庫、製品在庫で低下する。引き続き全『動向指数』がマイナスとなり、在庫調整の進展が窺える。

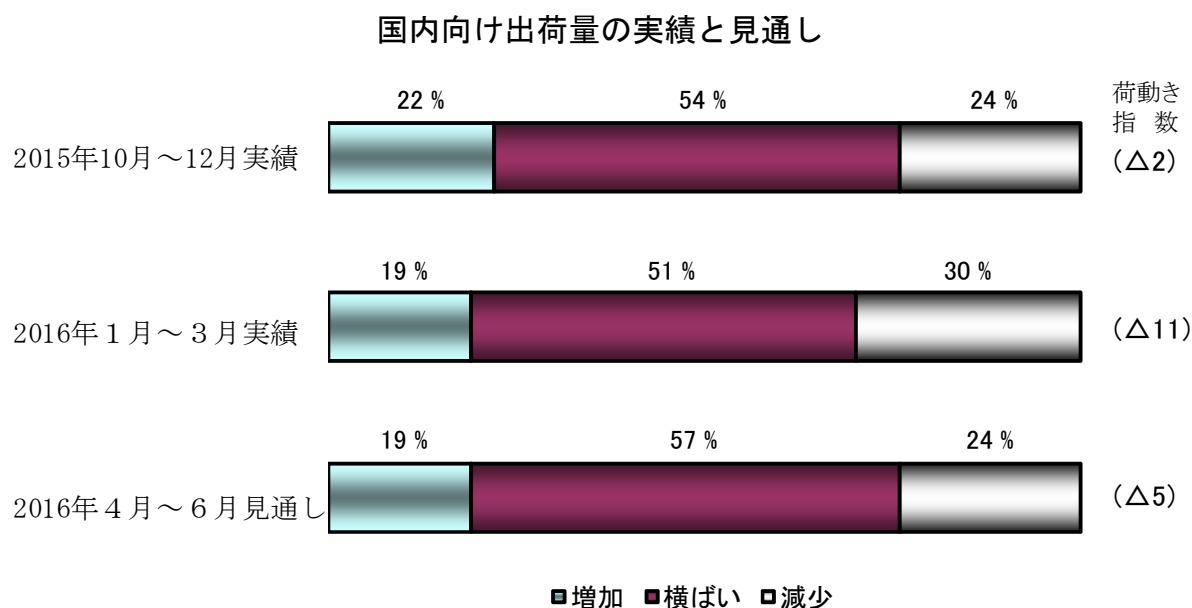
- 運賃・料金水準『動向指数』については、2016年1～3月実績（見込み）では、鉄道コンテナにおいて横ばいで推移する一方、その他の機関では低下した。『動向指数』は、内航コンテナ・RORO船でマイナスとなる一方、その他の機関ではプラスを示した。2016年4～6月見通しでは、一般トラック、特別積合せトラック、国内航空において上昇する一方、鉄道コンテナ、内航コンテナ・RORO船で横ばい、倉庫保管料では低下する。内航コンテナ・RORO船で『動向指数』がマイナスにとどまる以外は、残りの5機関ではプラスを維持し、運賃・料金の上昇基調に変化はないとみられる。

- 売上高に対する物流コスト割合の『動向指数』については、2016年1～3月実績（見込み）では、全15業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス10で、前期実績から4ポイント低下した。2016年4～6月見通しでは、その他の製造業がマイナスに沈む一方、過半数の業種において上昇する。業種全体の『動向指数』はプラス12と2ポイント上昇する見通しで、物流コスト割合の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。

－ 2. 国内向け出荷量の動向－

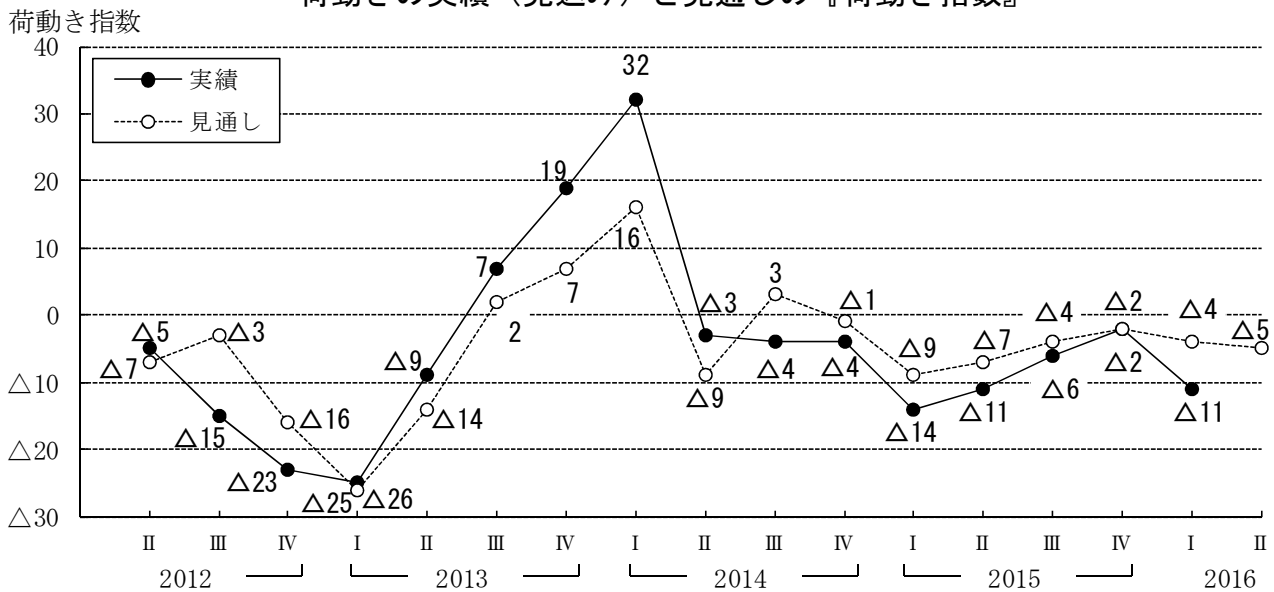
■ 2016年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2015年10～12月）実績から3ポイント低下し19%となった。一方、「減少」との回答は前期より6ポイント増加して30%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は9ポイント低下して△11となった。

■ 2016年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2016年1～3月）実績（見込み）からは横ばいで推移し19%となる一方、「減少」との回答は6ポイント低下し24%になる。この結果、『荷動き指数』は6ポイント上昇して△5と見込まれる。



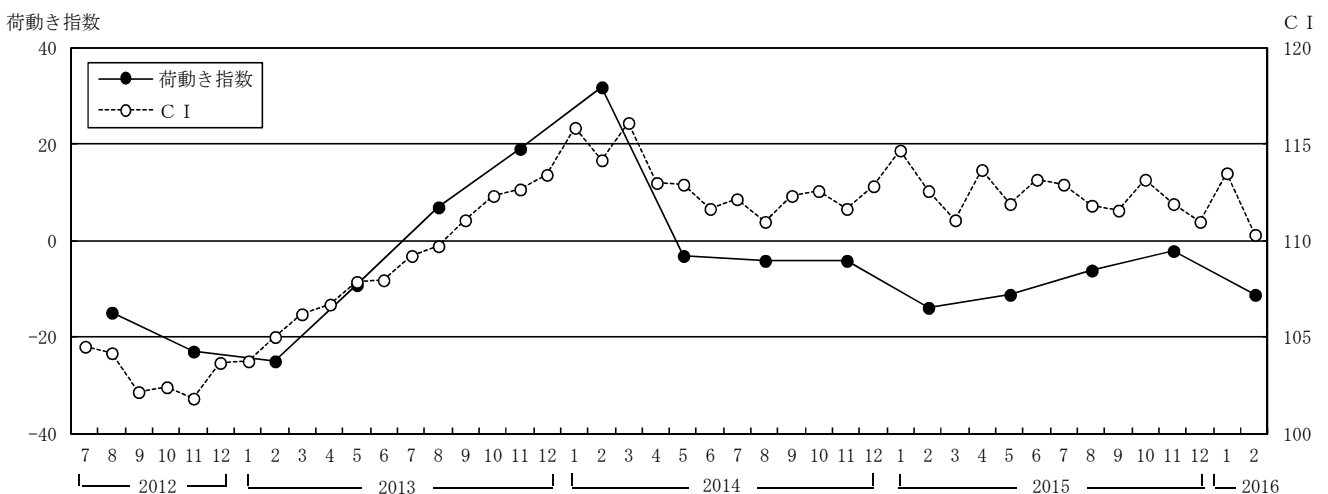
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、駆け込み需要の反動などから2014年4～6月実績において△3と水面下に沈み、以降マイナスの推移が続いている。2015年1～3月実績では、前年同期における大幅な盛り上がりの反動もあって、△14と一段の悪化がみられたが、この時点を底に緩やかながら改善方向に動き、10～12月実績では△2まで戻した。ただし、2016年1～3月実績（見込）で△11と再び悪化した後、4～6月見通しでは小幅な改善にとどまっており、足元において荷動きの盛り上がりはまだ期待しづらい状況にある。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』（2016年II期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し）、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』（2016年I期の『荷動き指数』は今回調査における判断）。

景気動向指数（C I；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』（実績）の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の山は2012年3月、景気の谷は2012年11月となっている。

■ 2016年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、**全15業種中12業種において前期（2015年10～12月）実績よりも悪化した**。パルプ・紙および精密機械がプラスで、残り13業種がマイナスとなった。

■ 2016年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準に下降する一方、生産財卸、消費財卸など5業種がプラスに浮上し、12業種において改善の動きがみられる。ただし、**プラスの業種は6業種にとどまり、1業種がゼロ水準で、8業種がマイナスになる見込みである**。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	106	27	54	19	8	106	22	52	26	△4	105	24	53	23	1
	繊維・衣服	36	8	53	39	△31	36	22	53	25	△3	35	22	49	29	△7
	木材・家具	38	24	58	18	6	41	17	56	27	△10	41	12	68	20	△8
	パルプ・紙	44	23	54	23	0	48	27	52	21	6	48	21	58	21	0
	化学・プラスチック	114	18	66	16	2	112	18	57	25	△7	111	18	69	13	5
	窯業・土石	34	26	48	26	0	42	21	38	41	△20	42	21	60	19	2
	鉄鋼・非鉄	96	20	45	35	△15	103	13	50	37	△24	103	14	55	31	△17
	金属製品	55	21	55	24	△3	54	11	61	28	△17	53	17	57	26	△9
	一般機械	97	21	56	23	△2	92	15	52	33	△18	91	19	48	33	△14
	電気機械	120	17	53	30	△13	120	17	44	39	△22	120	16	58	26	△10
	輸送用機械	96	27	47	26	1	102	25	48	27	△2	102	22	46	32	△10
	精密機械	26	27	58	15	12	26	23	69	8	15	26	27	62	11	16
	その他	58	19	59	22	△3	62	23	42	35	△12	62	18	55	27	△9
計	920	21	54	25	△4	944	19	51	30	△11	939	19	56	25	△6	
卸売業	生産財	47	28	55	17	11	50	24	46	30	△6	50	24	62	14	10
	消費財	55	31	49	20	11	51	17	61	22	△5	51	25	61	14	11
	計	102	29	52	19	10	101	21	53	26	△5	101	25	61	14	11
合計	1,022	22	54	24	△2	1,045	19	51	30	△11	1,040	19	57	24	△5	

■ 2016年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、九州・沖縄で唯一プラスを示したが、残り8地域ではマイナスとなった。前期（2015年10～12月）実績との比較では、**北海道および九州・沖縄で改善の動きがみられる一方、残りの7地域では悪化した。**

■ 2016年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、全9地域において改善の動きがみられる。ただし、**プラスの地域は北海道、中国、九州・沖縄の3地域にとどまり、回復の足取りは依然として鈍い。**

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

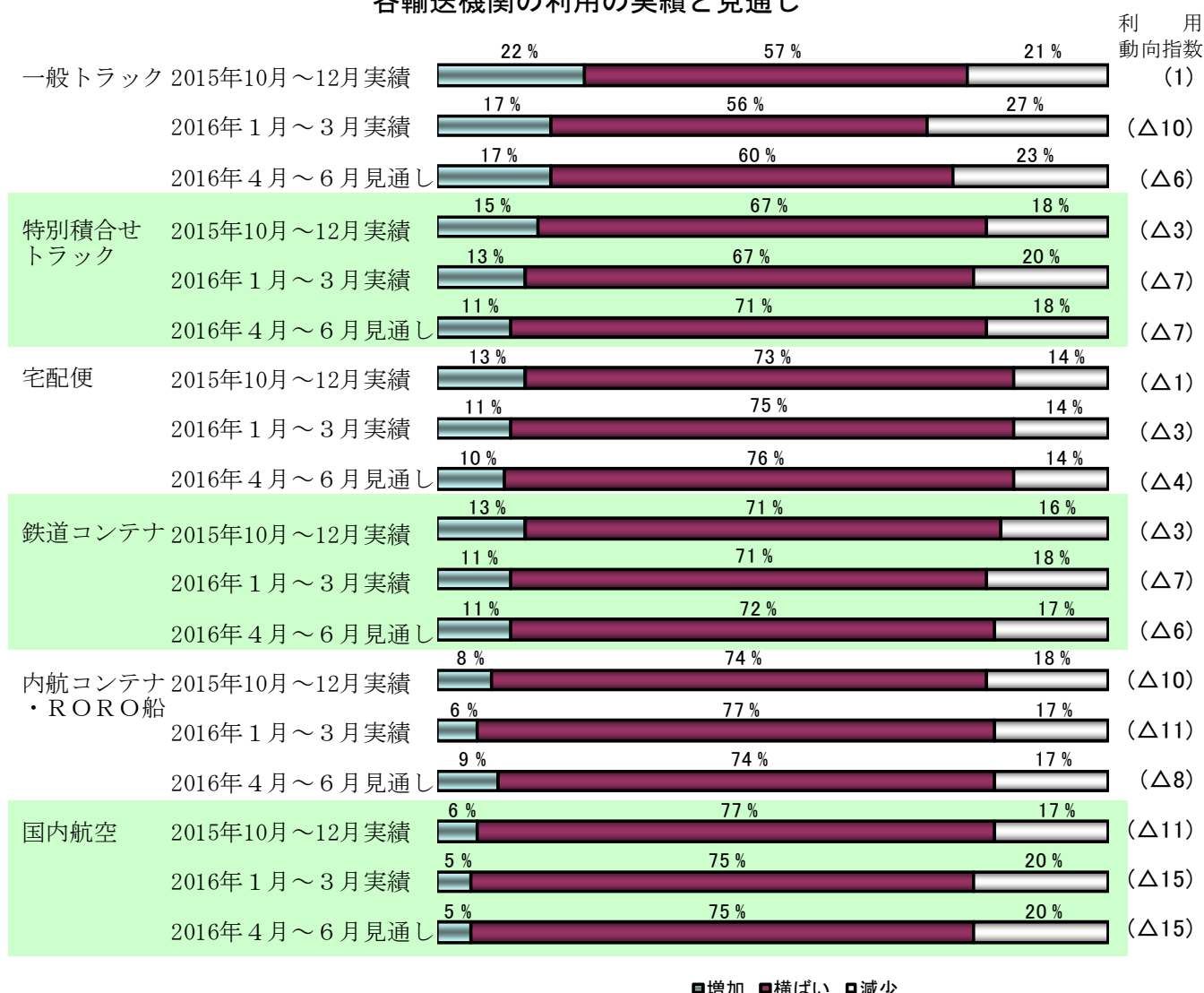
地 域	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	45	20	58	22	△ 2	51	24	51	25	△ 1	52	23	60	17	6
東 北	99	23	54	23	0	102	19	50	31	△ 12	102	21	54	25	△ 4
関 東	277	21	52	27	△ 6	264	17	50	33	△ 16	263	17	56	27	△ 10
北陸・信越	80	21	54	25	△ 4	86	15	52	33	△ 18	86	17	56	27	△ 10
東 海	159	25	52	23	2	163	23	51	26	△ 3	162	21	57	22	△ 1
近 畿	151	22	54	24	△ 2	160	17	51	32	△ 15	158	16	60	24	△ 8
中 国	94	26	60	14	12	98	23	49	28	△ 5	97	23	58	19	4
四 国	59	12	61	27	△ 15	54	17	50	33	△ 16	54	16	56	28	△ 12
九州・沖縄	58	24	52	24	0	67	21	63	16	5	66	26	55	19	7
合 計	1,022	22	54	24	△ 2	1,045	19	51	30	△ 11	1,040	19	57	24	△ 5

－ 3. 輸送機関利用の動向－

■ 2016年1～3月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関において前期（2015年10～12月）実績よりも悪化の動きがみられた。この結果、**すべての輸送機関で『利用動向指数』はマイナスを示した。**

■ 2016年4～6月の見通しでは、一般トラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ・RORO船において改善方向に動くものの、特別積合せトラックおよび国内航空で横ばい、宅配便では悪化し、**引き続きすべての輸送機関で『利用動向指数』がマイナスとなる。各輸送機関とも利用回復に向けての足取りは依然として鈍い。**

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙が唯一プラスを示し、精密機械がゼロ水準で、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2015年10～12月）実績から11ポイント低下して△10となった。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準に下降する一方、化学・プラスチック、生産財卸など4業種がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△6と4ポイント上昇する見通しであり、利用減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	105	27	55	18	9	105	19	60	21	△2	104	22	60	18	4
繊維・衣服	33	6	67	27	△21	29	14	62	24	△10	29	17	59	24	△7
木材・家具	38	26	53	21	5	41	14	59	27	△13	40	9	73	18	△9
パルプ・紙	44	23	57	20	3	48	31	48	21	10	48	23	54	23	0
化学・プラスチック	114	19	63	18	1	109	13	68	19	△6	108	16	73	11	5
窯業・土石	34	24	50	26	△2	40	19	43	38	△19	40	17	63	20	△3
鉄鋼・非鉄	99	18	50	32	△14	104	14	51	35	△21	103	14	54	32	△18
金属製品	56	20	57	23	△3	56	11	64	25	△14	55	13	69	18	△5
一般機械	99	23	60	17	6	97	13	53	34	△21	96	13	56	31	△18
電気機械	114	18	54	28	△10	116	17	51	32	△15	115	16	61	23	△7
輸送用機械	96	24	55	21	3	103	19	56	25	△6	102	17	48	35	△18
精密機械	24	12	71	17	△5	23	13	74	13	0	23	17	66	17	0
その他	61	25	56	19	6	63	22	45	33	△11	63	14	59	27	△13
計	917	21	57	22	△1	934	17	56	27	△10	926	16	60	24	△8
卸売業															
生産財	43	26	58	16	10	48	21	56	23	△2	48	21	67	12	9
消費財	54	30	59	11	19	50	18	60	22	△4	48	23	56	21	2
計	97	28	59	13	15	98	19	59	22	△3	96	22	61	17	5
合計	1,014	22	57	21	1	1,032	17	56	27	△10	1,022	17	60	23	△6

(2) 特別積合せトラック

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料、繊維・衣服、生産財卸の3業種がプラスで、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2015年10～12月）実績から4ポイント低下して△7となった。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服がマイナスに沈み、食料品・飲料もゼロ水準に下降する一方、化学・プラスチックおよび消費財卸がプラスに浮上し、木材・家具および精密機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△7と横ばいで推移する見通しであり、利用減退の動きに変化はない。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	76	22	66	12	10	75	20	61	19	1	74	18	64	18	0
繊維・衣服	27	3	67	30	△27	30	20	67	13	7	30	13	70	17	△4
木材・家具	24	13	74	13	0	27	14	67	19	△5	27	11	78	11	0
パルプ・紙	28	21	72	7	14	30	13	70	17	△4	30	10	67	23	△13
化学・プラスチック	100	12	67	21	△9	97	11	75	14	△3	96	16	76	8	8
製 窯業・土石	22	18	73	9	9	33	12	61	27	△15	33	15	67	18	△3
鉄鋼・非鉄	64	12	63	25	△13	70	8	69	23	△15	68	12	66	22	△10
業 金属製品	38	13	76	11	2	35	3	77	20	△17	35	2	89	9	△7
一般機械	66	17	66	17	0	72	7	65	28	△21	72	7	65	28	△21
電気機械	91	10	63	27	△17	91	14	56	30	△16	91	10	65	25	△15
輸送用機械	77	13	71	16	△3	76	12	68	20	△8	75	8	65	27	△19
精密機械	19	11	78	11	0	22	9	77	14	△5	22	14	72	14	0
その他	49	20	58	22	△2	46	15	63	22	△7	46	2	85	13	△11
計	681	14	67	19	△5	704	12	67	21	△9	699	11	70	19	△8
卸 生産財	35	23	60	17	6	38	18	71	11	7	38	11	84	5	6
消費財	40	23	70	7	16	37	10	76	14	△4	36	14	81	5	9
計	75	23	65	12	11	75	15	73	12	3	74	12	83	5	7
合計	756	15	67	18	△3	779	13	67	20	△7	773	11	71	18	△7

(3) 宅配便

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙、消費財卸など5業種がプラスで、繊維・衣服、電気機械など10業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2015年10～12月）実績から2ポイント低下して△3となった。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具および化学・プラスチックがゼロ水準まで戻す一方、一般機械、輸送用機械など9業種において悪化の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と弱含み横ばいで推移する見通しであり、利用減退の動きがいくぶん強まるとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	89	13	74	13	0	86	10	78	12	△2	85	9	76	15	△6	
繊維・衣服	34	9	62	29	△20	31	3	74	23	△20	31	10	74	16	△6	
木材・家具	30	10	73	17	△7	32	12	72	16	△4	31	6	88	6	0	
パルプ・紙	23	9	74	17	△8	26	15	81	4	11	26	12	85	3	9	
化学・プラスチック	92	4	85	11	△7	80	3	89	8	△5	80	8	84	8	0	
窯業・土石	26	8	88	4	4	35	14	77	9	5	35	11	80	9	2	
鉄鋼・非鉄	60	8	77	15	△7	59	1	92	7	△6	57	0	91	9	△9	
金属製品	48	17	83	0	17	45	13	78	9	4	44	14	77	9	5	
一般機械	88	20	66	14	6	88	14	68	18	△4	88	11	69	20	△9	
電気機械	109	11	71	18	△7	107	13	66	21	△8	105	11	71	18	△7	
輸送用機械	79	8	77	15	△7	77	6	80	14	△8	78	4	78	18	△14	
精密機械	26	15	62	23	△8	27	11	70	19	△8	27	7	74	19	△12	
その他	50	24	66	10	14	52	21	50	29	△8	52	13	64	23	△10	
計	754	12	74	14	△2	745	10	75	15	△5	739	9	77	14	△5	
卸売業	生産財	33	15	64	21	△6	38	18	69	13	5	38	13	76	11	2
	消費財	46	26	65	9	17	43	16	79	5	11	42	24	74	2	22
	計	79	22	65	13	9	81	17	74	9	8	80	19	75	6	13
合計	833	13	73	14	△1	826	11	75	14	△3	819	10	76	14	△4	

(4) 鉄道コンテナ

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料、木材・家具、消費財卸の3業種がプラス、繊維・衣服、化学・プラスチック、生産財卸の3業種がゼロ水準で、パルプ・紙、輸送用機械など9業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2015年10～12月）実績から4ポイント低下して△7となった。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服および木材・家具がマイナスに沈み、消費財卸もゼロ水準に下降する一方、化学・プラスチックがプラスに浮上し、鉄鋼・非鉄もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△6と強含み横ばいで推移する見通しで、利用減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	46	30	59	11	19	55	22	58	20	2	55	20	62	18	2	
繊維・衣服	11	18	64	18	0	11	18	64	18	0	11	9	73	18	△9	
木材・家具	19	5	74	21	△16	20	15	75	10	5	20	10	75	15	△5	
パルプ・紙	29	3	69	28	△25	32	13	59	28	△15	32	16	59	25	△9	
化学・プラスチック	84	14	75	11	3	82	12	76	12	0	82	15	77	8	7	
窯業・土石	9	22	56	22	0	15	0	80	20	△20	15	0	80	20	△20	
鉄鋼・非鉄	41	20	66	14	6	44	9	77	14	△5	45	13	74	13	0	
金属製品	19	0	84	16	△16	20	5	80	15	△10	20	5	80	15	△10	
一般機械	38	8	84	8	0	38	3	79	18	△15	38	2	82	16	△14	
電気機械	34	3	76	21	△18	41	9	71	20	△11	41	5	80	15	△10	
輸送用機械	39	18	64	18	0	36	11	61	28	△17	36	8	59	33	△25	
精密機械	12	8	84	8	0	13	8	77	15	△7	13	8	77	15	△7	
その他	33	6	67	27	△21	29	3	73	24	△21	29	7	69	24	△17	
計	414	13	71	16	△3	436	11	71	18	△7	437	11	72	17	△6	
卸売業	生産財	11	9	64	27	△18	11	18	64	18	0	11	9	82	9	0
	消費財	20	10	80	10	0	17	18	71	11	7	17	12	76	12	0
	計	31	10	74	16	△6	28	18	68	14	4	28	11	78	11	0
合計	445	13	71	16	△3	464	11	71	18	△7	465	11	72	17	△6	

(5) 内航コンテナ・RORO船

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、生産財卸が唯一プラスを示し、残り14業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△11と、前期（2015年10～12月）実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙および窯業・土石がプラスに浮上し、繊維・衣服および木材・家具もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△8と3ポイント上昇する見通しで、利用減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

内航コンテナ・RORO船利用の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	30	10	73	17	△7	37	8	76	16	△8	37	3	78	19	△16	
繊維・衣服	8	0	75	25	△25	8	0	88	12	△12	8	13	74	13	0	
木材・家具	11	18	73	9	9	13	8	69	23	△15	13	15	70	15	0	
パルプ・紙	18	11	56	33	△22	22	23	50	27	△4	22	27	55	18	9	
化学・プラスチック	62	8	86	6	2	59	3	87	10	△7	59	8	82	10	△2	
窯業・土石	8	38	38	24	14	12	8	75	17	△9	12	25	58	17	8	
鉄鋼・非鉄	29	0	69	31	△31	27	7	82	11	△4	27	4	89	7	△3	
金属製品	15	7	86	7	0	15	0	87	13	△13	15	0	87	13	△13	
一般機械	34	18	68	14	4	36	8	75	17	△9	36	17	61	22	△5	
電気機械	33	3	82	15	△12	36	3	75	22	△19	36	6	75	19	△13	
輸送用機械	31	6	71	23	△17	30	7	70	23	△16	30	7	60	33	△26	
精密機械	10	0	90	10	△10	12	0	83	17	△17	12	0	83	17	△17	
その他	28	4	71	25	△21	23	8	70	22	△14	23	4	79	17	△13	
計	317	8	75	17	△9	330	7	76	17	△10	330	9	74	17	△8	
卸売業	生産財	9	11	67	22	△11	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
	消費財	15	13	67	20	△7	10	0	80	20	△20	10	0	80	20	△20
	計	24	12	67	21	△9	19	5	84	11	△6	19	5	84	11	△6
合計	341	8	74	18	△10	349	6	77	17	△11	349	9	74	17	△8	

(6) 国内航空

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、生産財卸が唯一プラスを示し、精密機械がゼロ水準で、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△15と、前期（2015年10～12月）実績から4ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準に戻す一方、精密機械がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△15と横ばいで推移する見通しで、利用は引き続き減退するとみられる。

国内航空利用の実績と見通し

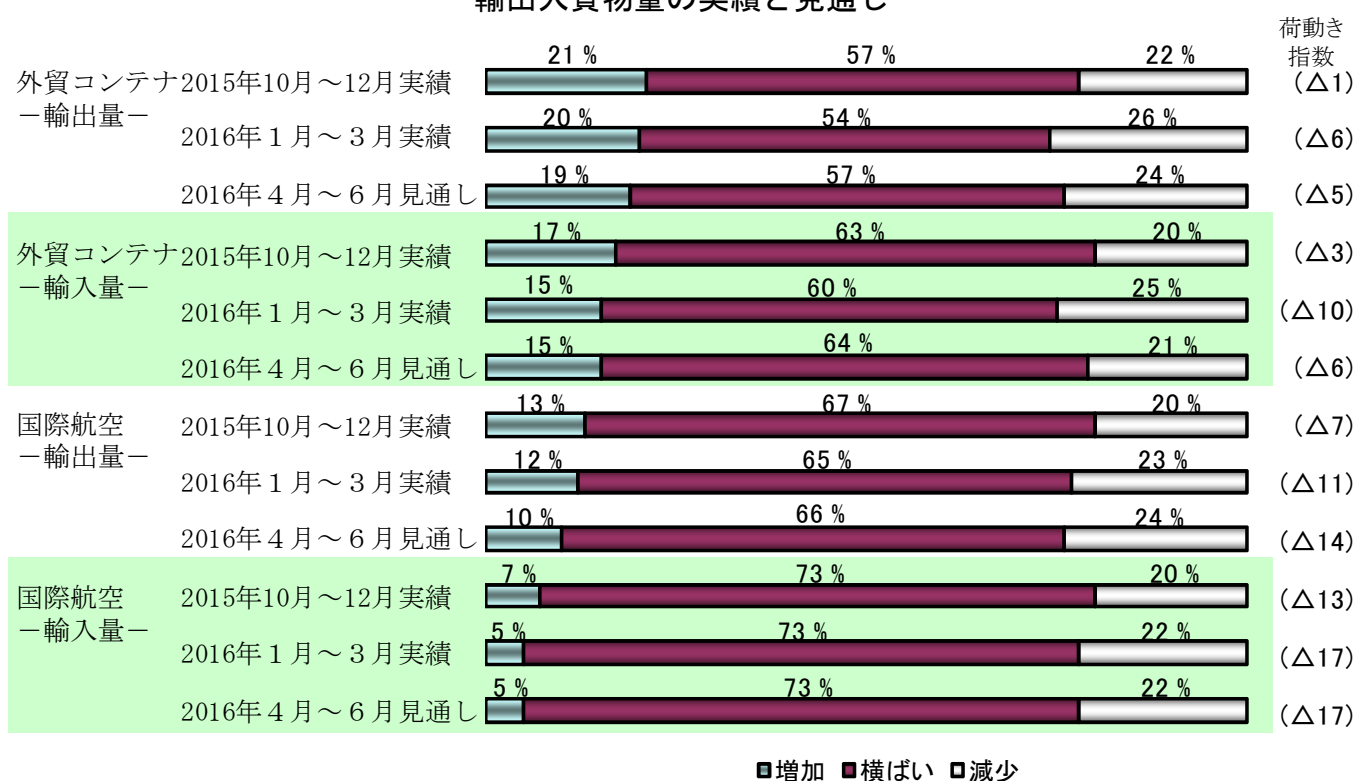
業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	30	7	70	23	△16	29	3	83	14	△11	29	3	87	10	△7
	繊維・衣服	8	0	100	0	0	12	8	75	17	△9	12	8	75	17	△9
	木材・家具	9	11	89	0	11	11	9	73	18	△9	11	9	82	9	0
	パルプ・紙	3	0	100	0	0	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
	化学・プラスチック	45	6	76	18	△12	38	3	84	13	△10	37	8	78	14	△6
	窯業・土石	6	0	100	0	0	10	10	50	40	△30	10	10	50	40	△30
	鉄鋼・非鉄	23	0	91	9	△9	20	10	70	20	△10	19	0	89	11	△11
	金属製品	16	6	94	0	6	20	0	85	15	△15	19	0	74	26	△26
	一般機械	45	4	76	20	△16	42	2	81	17	△15	42	2	79	19	△17
	電気機械	53	9	70	21	△12	56	7	64	29	△22	56	4	71	25	△21
	輸送用機械	30	0	93	7	△7	28	0	79	21	△21	28	4	71	25	△21
精密機械	16	13	74	13	0	18	11	78	11	0	18	5	78	17	△12	
その他	23	4	66	30	△26	20	5	60	35	△30	20	5	60	35	△30	
計	307	5	79	16	△11	310	5	75	20	△15	307	4	76	20	△16	
卸売業	生産財	12	8	59	33	△25	15	20	73	7	13	15	20	73	7	13
	消費財	14	14	57	29	△15	14	7	72	21	△14	14	7	72	21	△14
	計	26	11	58	31	△20	29	14	72	14	0	29	14	72	14	0
合計	333	6	77	17	△11	339	5	75	20	△15	336	5	75	20	△15	

－ 4. 輸出入貨物量の動向－

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において前期（2015年10～12月）実績よりも悪化した。『荷動き指数』は、引き続きすべての輸送機関でマイナスを示した。

■ 2016年4～6月の見通しでは、外貨コンテナの輸出および輸入において『荷動き指数』が改善する一方、国際航空の輸出で悪化し、国際航空の輸入では横ばいで推移する。この結果、引き続きすべての輸送機関で『荷動き指数』はマイナスとなり、荷動き減退の動きに変化はない。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、食料品・飲料、パルプ・紙など6業種がプラスで、一般機械、電気機械など9業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△6で、前期（2015年10～12月）実績から5ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械および生産財卸がマイナスに沈む一方、化学・プラスチックなど4業種がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△5と強含み横ばいで推移する見通しで、荷動き減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	23	43	53	4	39	24	38	54	8	30	24	33	54	13	20	
繊維・衣服	13	15	62	23	△8	13	23	62	15	8	13	46	31	23	23	
木材・家具	5	60	40	0	60	5	40	40	20	20	5	40	60	0	40	
パルプ・紙	14	29	50	21	8	16	38	44	18	20	17	35	41	24	11	
化学・プラスチック	66	21	59	20	1	62	21	50	29	△8	61	21	61	18	3	
窯業・土石	18	33	50	17	16	20	20	40	40	△20	20	20	70	10	10	
鉄鋼・非鉄	43	9	51	40	△31	41	17	49	34	△17	40	17	53	30	△13	
金属製品	19	16	79	5	11	18	22	50	28	△6	18	22	67	11	11	
一般機械	67	22	51	27	△5	66	15	53	32	△17	66	12	49	39	△27	
電気機械	56	14	65	21	△7	60	18	55	27	△9	60	15	62	23	△8	
輸送用機械	58	21	57	22	△1	50	20	62	18	2	50	18	56	26	△8	
精密機械	13	15	70	15	0	15	13	67	20	△7	14	7	64	29	△22	
その他	31	23	54	23	0	28	11	64	25	△14	28	18	68	14	4	
計	426	21	57	22	△1	418	20	54	26	△6	416	19	57	24	△5	
卸売業	生産財	11	27	73	0	27	9	33	56	11	22	9	0	67	33	△33
	消費財	12	8	50	42	△34	8	0	63	37	△37	8	0	63	37	△37
	計	23	17	61	22	△5	17	17	59	24	△7	17	0	65	35	△35
合計	449	21	57	22	△1	435	20	54	26	△6	433	19	57	24	△5	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、繊維・衣服、輸送用機械など5業種がプラスで、一般機械、電気機械など10業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△10で、前期（2015年10～12月）実績からは7ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈み、消費財卸もゼロ水準に下降する一方、化学・プラスチックなど7業種において上昇する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△6と4ポイント上昇する見通しで、荷動き減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	20	15	80	5	10	27	11	59	30	△19	27	15	59	26	△11
繊維・衣服	13	31	46	23	8	12	42	42	16	26	12	42	42	16	26
木材・家具	11	27	64	9	18	8	25	63	12	13	8	25	75	0	25
パルプ・紙	6	33	50	17	16	10	0	70	30	△30	10	10	70	20	△10
化学・プラスチック	61	15	74	11	4	56	16	70	14	2	56	21	65	14	7
製 窯業・土石	19	21	47	32	△11	21	14	43	43	△29	21	5	62	33	△28
鉄鋼・非鉄	30	13	54	33	△20	27	7	63	30	△23	27	7	63	30	△23
業 金属製品	15	7	80	13	△6	15	7	80	13	△6	15	7	80	13	△6
一般機械	58	22	59	19	3	58	15	64	21	△6	58	15	64	21	△6
電気機械	54	7	62	31	△24	56	11	57	32	△21	56	12	70	18	△6
輸送用機械	60	17	70	13	4	57	21	60	19	2	57	19	56	25	△6
精密機械	15	20	67	13	7	15	6	67	27	△21	15	6	67	27	△21
その他	28	10	61	29	△19	25	8	60	32	△24	25	8	72	20	△12
計	390	16	64	20	△4	387	14	62	24	△10	387	15	64	21	△6
卸 生産財	15	27	53	20	7	12	17	33	50	△33	12	0	58	42	△42
消費財	16	24	38	38	△14	11	27	55	18	9	11	18	64	18	0
計	31	26	45	29	△3	23	22	43	35	△13	23	9	61	30	△21
合計	421	17	63	20	△3	410	15	60	25	△10	410	15	64	21	△6

(3) 国際航空 —輸出—

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、鉄鋼・非鉄など4業種がプラス、木材・家具およびパルプ・紙がゼロ水準で、一般機械、電気機械など9業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△11で、前期（2015年10～12月）実績から4ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械および精密機械がマイナスに沈み、生産財卸もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△14と3ポイント低下する見通しで、荷動きにはいっそうの減退が見込まれる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	8	0	88	12	△12	12	0	92	8	△8	12	0	92	8	△8	
繊維・衣服	10	0	80	20	△20	11	0	91	9	△9	11	9	73	18	△9	
木材・家具	3	0	100	0	0	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0	
パルプ・紙	1	0	100	0	0	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0	
化学・プラスチック	44	14	75	11	3	36	11	72	17	△6	36	11	75	14	△3	
窯業・土石	10	30	50	20	10	13	24	38	38	△14	13	24	38	38	△14	
鉄鋼・非鉄	25	8	68	24	△16	27	22	67	11	11	26	15	77	8	7	
金属製品	15	13	67	20	△7	15	13	47	40	△27	13	8	38	54	△46	
一般機械	60	10	68	22	△12	59	3	68	29	△26	56	5	66	29	△24	
電気機械	69	17	55	28	△11	74	12	53	35	△23	74	11	54	35	△24	
輸送用機械	41	17	66	17	0	38	13	79	8	5	38	3	84	13	△10	
精密機械	18	22	56	22	0	18	22	61	17	5	18	17	61	22	△5	
その他	24	12	67	21	△9	18	17	61	22	△5	18	17	61	22	△5	
計	328	14	66	20	△6	326	12	65	23	△11	320	10	66	24	△14	
卸売業	生産財	11	9	91	0	9	11	18	73	9	9	11	18	64	18	0
	消費財	6	0	50	50	△50	6	0	50	50	△50	6	0	50	50	△50
	計	17	6	76	18	△12	17	11	65	24	△13	17	12	59	29	△17
合計	345	13	67	20	△7	343	12	65	23	△11	337	10	66	24	△14	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無で、木材・家具および輸送用機械がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△17で、前期（2015年10～12月）実績から4ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈む以外に大きな動きはみられない。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△17と横ばいで推移する見通しで、荷動き減退の動きに変化はない。

国際航空による輸入量の実績と見通し

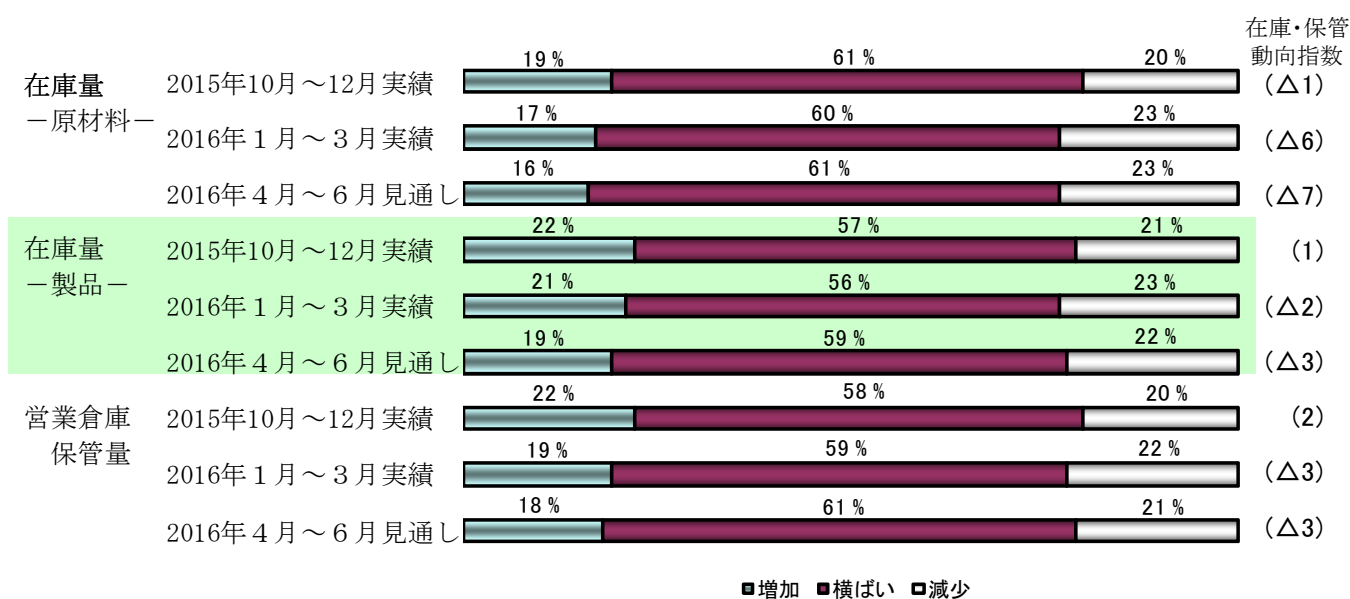
業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	10	10	80	10	0	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9	
繊維・衣服	7	0	100	0	0	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11	
木材・家具	1	0	100	0	0	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0	
パルプ・紙	1	0	100	0	0	3	0	67	33	△33	3	0	67	33	△33	
化学・プラスチック	37	8	81	11	△3	35	3	83	14	△11	35	3	80	17	△14	
窯業・土石	9	11	67	22	△11	11	0	64	36	△36	11	0	64	36	△36	
鉄鋼・非鉄	17	12	76	12	0	19	10	74	16	△6	19	5	84	11	△6	
金属製品	12	8	84	8	0	11	0	82	18	△18	10	0	80	20	△20	
一般機械	46	4	74	22	△18	50	8	64	28	△20	48	6	65	29	△23	
電気機械	54	6	63	31	△25	63	6	65	29	△23	63	3	68	29	△26	
輸送用機械	38	11	76	13	△2	36	8	84	8	0	36	5	81	14	△9	
精密機械	17	11	71	18	△7	19	11	63	26	△15	19	11	63	26	△15	
その他	23	9	61	30	△21	19	5	63	32	△27	19	10	58	32	△22	
計	272	8	73	19	△11	288	6	72	22	△16	285	4	73	23	△19	
卸売業	生産財	10	0	80	20	△20	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11
	消費財	8	12	50	38	△26	9	11	67	22	△11	9	11	67	22	△11
	計	18	5	67	28	△23	18	5	78	17	△12	18	5	78	17	△12
合計	290	7	73	20	△13	306	5	73	22	△17	303	5	73	22	△17	

－ 5. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2016年1～3月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、すべての『動向指数』も前期（2015年10～12月）実績よりも低下した。この結果、すべての『動向指数』がマイナスを示した。

■ 2016年4～6月の見通しについては、営業倉庫保管量において『動向指数』が横ばいで推移する一方、原材料在庫および製品在庫では低下する見込みである。この結果、引き続きすべての『動向指数』がマイナスとなり、在庫調整の進展が窺える。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、パルプ・紙など6業種がプラスで、金属製品、生産財など9業種がマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△6で、前期（2015年10月～12月）実績から5ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、生産財卸がゼロ水準まで戻す一方、木材・家具およびその他の製造業がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△7と弱含み横ばいで推移する見込みで、原材料在庫は縮小の動きが続くとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	94	20	65	15	5	97	15	61	24	△9	97	9	69	22	△13
	繊維・衣服	33	15	61	24	△9	33	15	55	30	△15	33	9	61	30	△21
	木材・家具	35	43	40	17	26	37	32	44	24	8	37	19	59	22	△3
	パルプ・紙	41	17	66	17	0	41	24	64	12	12	41	20	68	12	8
	化学・プラスチック	111	14	66	20	△6	101	22	59	19	3	100	23	61	16	7
	窯業・土石	32	16	68	16	0	39	26	54	20	6	39	15	72	13	2
	鉄鋼・非鉄	94	16	55	29	△13	97	12	60	28	△16	97	14	62	24	△10
	金属製品	47	8	77	15	△7	47	6	66	28	△22	46	9	67	24	△15
	一般機械	87	24	56	20	4	84	14	66	20	△6	83	17	55	28	△11
	電気機械	104	20	64	16	4	104	20	47	33	△13	103	16	54	30	△14
	輸送用機械	88	22	58	20	2	92	18	62	20	△2	92	16	57	27	△11
精密機械	24	29	46	25	4	26	15	66	19	△4	26	11	62	27	△16	
その他	53	17	58	25	△8	55	16	69	15	1	55	11	71	18	△7	
計	843	19	61	20	△1	853	18	59	23	△5	849	15	62	23	△8	
卸売業	生産財	26	19	62	19	0	33	12	58	30	△18	33	24	52	24	0
	消費財	33	18	58	24	△6	32	16	75	9	7	32	22	59	19	3
	計	59	19	59	22	△3	65	14	66	20	△6	65	23	55	22	1
合計	902	19	61	20	△1	918	17	60	23	△6	914	16	61	23	△7	

(2) 在庫量 —製品—

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、化学・プラスチック、その他の製造業など6業種がプラス、鉄鋼・非鉄および精密機械がゼロ水準で、電気機械、生産財卸など7業種がマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△2で、前期（2015年10～12月）実績から3ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、生産財卸がゼロ水準まで戻す一方、木材・家具など4業種がマイナスに沈み、窯業・土石もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△3と弱含み横ばいで推移する見込みで、製品在庫は縮小の動きが続くとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	94	26	54	20	6	96	16	59	25	△9	96	12	63	25	△13	
繊維・衣服	34	24	59	17	7	34	21	53	26	△5	34	18	56	26	△8	
木材・家具	37	24	46	30	△6	40	28	48	24	4	40	14	63	23	△9	
パルプ・紙	44	27	55	18	9	45	29	47	24	5	44	23	61	16	7	
化学・プラスチック	116	19	63	18	1	106	24	61	15	9	106	23	65	12	11	
窯業・土石	33	36	43	21	15	39	21	62	17	4	39	15	70	15	0	
鉄鋼・非鉄	96	23	49	28	△5	101	22	56	22	0	101	20	59	21	△1	
金属製品	50	20	52	28	△8	49	12	66	22	△10	48	14	67	19	△5	
一般機械	92	26	54	20	6	87	23	53	24	△1	86	23	51	26	△3	
電気機械	105	24	58	18	6	108	22	41	37	△15	107	17	52	31	△14	
輸送用機械	93	14	63	23	△9	92	24	61	15	9	92	22	53	25	△3	
精密機械	25	16	64	20	△4	27	15	70	15	0	27	11	74	15	△4	
その他	57	18	61	21	△3	57	28	58	14	14	57	23	61	16	7	
計	876	22	57	21	1	881	22	56	22	0	877	18	60	22	△4	
卸売業	生産財	40	25	63	12	13	41	12	56	32	△20	41	22	56	22	0
	消費財	49	22	54	24	△2	41	10	68	22	△12	41	15	56	29	△14
	計	89	24	57	19	5	82	11	62	27	△16	82	18	56	26	△8
合計	965	22	57	21	1	963	21	56	23	△2	959	19	59	22	△3	

(3) 営業倉庫保管量

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『保管動向指数』は、パルプ・紙など5業種がプラス、窯業・土石およびその他の製造業がゼロ水準で、一般機械、生産財卸など8業種がマイナスを示した。業種全体の『保管動向指数』は△3で、前期（2015年10～12月）実績から5ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『保管動向指数』見通しでは、金属製品および電気機械がプラスに浮上する一方、窯業・土石など5業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『保管動向指数』は△3と横ばいの推移が見込まれ、営業倉庫保管量は小幅ながら縮小の動きが続くとみられる。

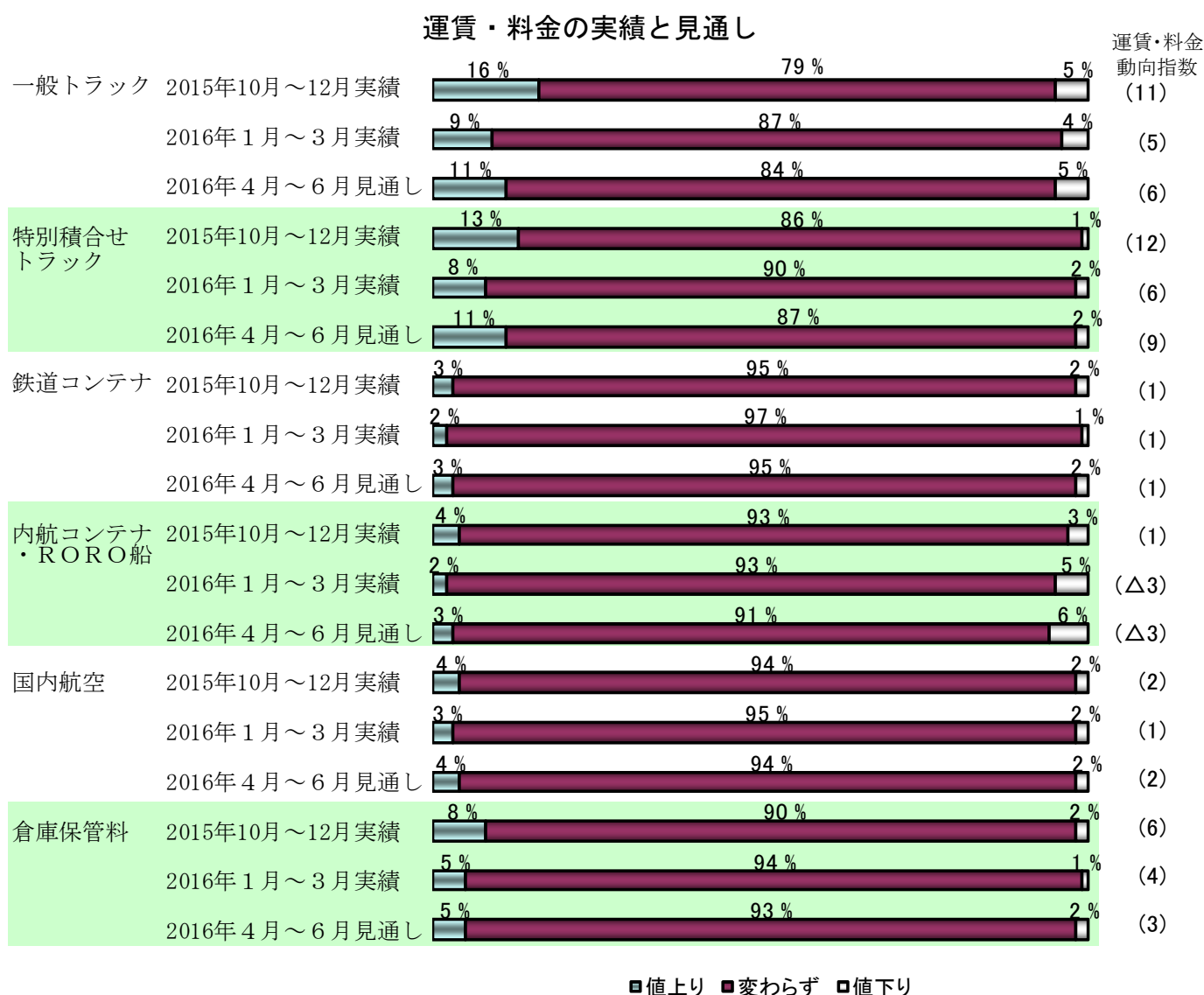
営業倉庫保管量の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	85	27	54	19	8	79	19	56	25	△6	79	19	61	20	△1
	繊維・衣服	24	17	54	29	△12	16	31	50	19	12	16	25	44	31	△6
	木材・家具	31	22	52	26	△4	29	21	55	24	△3	29	6	66	28	△22
	パルプ・紙	35	31	58	11	20	37	27	59	14	13	37	22	65	13	9
	化学・プラスチック	93	26	57	17	9	91	24	63	13	11	90	24	64	12	12
	窯業・土石	20	20	65	15	5	25	28	44	28	0	25	12	52	36	△24
	鉄鋼・非鉄	64	25	63	12	13	73	15	66	19	△4	73	16	66	18	△2
	金属製品	29	17	52	31	△14	29	13	59	28	△15	28	18	68	14	4
	一般機械	62	23	58	19	4	68	12	62	26	△14	68	10	64	26	△16
	電気機械	72	26	59	15	11	75	23	53	24	△1	75	24	55	21	3
	輸送用機械	67	19	50	31	△12	67	24	54	22	2	67	21	48	31	△10
精密機械	14	7	79	14	△7	19	11	68	21	△10	19	10	74	16	△6	
その他	43	16	56	28	△12	44	16	68	16	0	44	14	68	18	△4	
計	639	23	57	20	3	652	20	59	21	△1	650	18	61	21	△3	
卸売業	生産財	33	18	61	21	△3	35	17	46	37	△20	35	20	54	26	△6
	消費財	45	13	69	18	△5	37	16	70	14	2	37	22	54	24	△2
	計	78	15	66	19	△4	72	17	58	25	△8	72	21	54	25	△4
合計	717	22	58	20	2	724	19	59	22	△3	722	18	61	21	△3	

－ 6. 運賃・料金の動向－

■ 2016年1～3月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、鉄道コンテナにおいて前期（2015年10～12月）実績から横ばいで推移する一方、その他の機関では低下した。『動向指数』は、内航コンテナ・RORO船でマイナスとなる一方、その他の機関においてはプラスを示した。

■ 2016年4～6月の『動向指数』見通しについては、一般トラック、特別積合せトラック、国内航空において上昇する一方、鉄道コンテナおよび内航コンテナ・RORO船で横ばい、倉庫保管料では低下する。この結果、内航コンテナ・RORO船で『動向指数』がマイナスにとどまる以外は、残りの5機関ではプラスを維持し、運賃・料金の上昇基調に変化はないとみられる。



(1) 一般トラック運賃

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、鉄鋼・非鉄など4業種がマイナスで、残り11業種がプラスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス5で、前期(2015年10～12月)実績から6ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石およびその他の製造業がゼロ水準に下降する一方、繊維・衣服がプラスに浮上し、精密機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス6と強含み横ばいで推移する見通しで、運賃水準の上昇圧力は依然として強いものの、基調はややマイルドになるとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	104	34	64	2	32	105	17	79	4	13	104	19	77	4	15
繊維・衣服	32	12	88	0	12	29	7	83	10	△3	29	10	83	7	3
木材・家具	38	24	76	0	24	39	15	80	5	10	39	18	79	3	15
パルプ・紙	44	9	89	2	7	47	6	92	2	4	47	9	85	6	3
化学・プラスチック	113	13	84	3	10	109	10	87	3	7	108	11	84	5	6
窯業・土石	34	15	82	3	12	40	8	88	4	4	40	8	84	8	0
鉄鋼・非鉄	97	9	77	14	△5	102	4	81	15	△11	102	5	74	21	△16
金属製品	56	11	86	3	8	54	6	93	1	5	52	4	94	2	2
一般機械	98	8	89	3	5	96	7	92	1	6	96	6	91	3	3
電気機械	111	12	83	5	7	115	7	90	3	4	114	8	90	2	6
輸送用機械	94	15	73	12	3	100	4	87	9	△5	100	9	81	10	△1
精密機械	25	8	84	8	0	25	4	88	8	△4	25	4	92	4	0
その他	60	12	83	5	7	61	2	98	0	2	61	3	94	3	0
計	906	14	81	5	9	922	8	87	5	3	917	9	85	6	3
卸売業															
生産財	42	19	79	2	17	44	18	82	0	18	44	18	82	0	18
消費財	55	33	65	2	31	50	18	82	0	18	50	30	70	0	30
計	97	27	71	2	25	94	18	82	0	18	94	24	76	0	24
合計	1,003	16	79	5	11	1,016	9	87	4	5	1,011	11	84	5	6

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、鉄鋼・非鉄および輸送用機械がマイナス、繊維・衣服および精密機械がゼロ水準で、残り11業種がプラスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス6で、前期(2015年10～12月)実績から6ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上し、輸送用機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス9と3ポイント上昇する見通しで、運賃水準の上昇圧力は若干強まるとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	74	27	72	1	26	75	12	87	1	11	74	19	80	1	18	
繊維・衣服	26	12	88	0	12	28	7	86	7	0	28	14	79	7	7	
木材・家具	23	0	100	0	0	26	4	96	0	4	26	4	96	0	4	
パルプ・紙	26	8	92	0	8	28	11	89	0	11	28	11	89	0	11	
化学・プラスチック	100	19	81	0	19	96	9	89	2	7	96	13	86	1	12	
窯業・土石	21	24	76	0	24	33	15	85	0	15	33	12	88	0	12	
鉄鋼・非鉄	62	8	89	3	5	66	3	91	6	△3	66	6	85	9	△3	
金属製品	38	0	100	0	0	34	6	94	0	6	34	6	94	0	6	
一般機械	68	1	98	1	0	70	9	90	1	8	70	7	90	3	4	
電気機械	89	6	91	3	3	89	7	91	2	5	89	7	92	1	6	
輸送用機械	78	9	86	5	4	77	3	92	5	△2	76	7	86	7	0	
精密機械	19	11	84	5	6	22	5	90	5	0	22	5	90	5	0	
その他	48	12	88	0	12	44	5	95	0	5	44	9	86	5	4	
計	672	11	87	2	9	688	7	91	2	5	686	9	88	3	6	
卸売業	生産財	33	21	76	3	18	39	15	85	0	15	38	21	79	0	21
	消費財	40	30	70	0	30	37	14	86	0	14	36	19	81	0	19
	計	73	26	73	1	25	76	14	86	0	14	74	20	80	0	20
合計	745	13	86	1	12	764	8	90	2	6	760	11	87	2	9	

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石など6業種がプラス、食料品・飲料など6業種がゼロ水準で、金属製品、輸送用機械、精密機械の3業種がマイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期(2015年10～12)月)実績から横ばいで推移した。

■ 2016年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、一般機械がマイナスに沈み、鉄鋼・非鉄もマイナス水準に下降する一方、食料品・飲料がプラスに浮上する以外に大きな動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス1と横ばいで推移する見通しで、運賃水準の上昇圧力は弱いとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	47	6	94	0	6	54	0	100	0	0	54	6	94	0	6
繊維・衣服	12	8	92	0	8	11	9	91	0	9	11	9	91	0	9
木材・家具	18	0	100	0	0	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
パルプ・紙	28	4	96	0	4	29	7	93	0	7	29	10	90	0	10
化学・プラスチック	82	1	97	2	△1	82	4	94	2	2	82	6	92	2	4
窯業・土石	10	10	90	0	10	14	14	86	0	14	14	7	93	0	7
鉄鋼・非鉄	41	2	96	2	0	46	2	98	0	2	47	0	100	0	0
金属製品	20	0	95	5	△5	22	0	95	5	△5	22	0	95	5	△5
一般機械	35	0	97	3	△3	38	0	100	0	0	37	0	97	3	△3
電気機械	34	0	100	0	0	42	0	100	0	0	42	0	100	0	0
輸送用機械	39	3	94	3	0	38	0	97	3	△3	38	3	89	8	△5
精密機械	13	0	92	8	△8	14	0	93	7	△7	14	0	93	7	△7
その他	32	3	94	3	0	29	0	100	0	0	29	3	94	3	0
計	411	2	96	2	0	439	2	97	1	1	439	3	95	2	1
卸売業															
生産財	12	17	83	0	17	11	9	91	0	9	11	9	91	0	9
消費財	19	5	95	0	5	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0
計	31	10	90	0	10	27	4	96	0	4	27	4	96	0	4
合計	442	3	95	2	1	466	2	97	1	1	466	3	95	2	1

(4) 内航コンテナ・RORO運賃

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、輸送用機械が唯一プラスを示し、繊維・衣服など5業種がゼロ水準で、パルプ・紙、化学・プラスチックなど9業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△3で、前期（2015年10～12月）実績から4ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙、金属製品、消費財卸がゼロ水準まで戻す一方、一般機械およびその他の製造業がマイナスに沈み、輸送用機械もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は△3と横ばいで推移する見通しで、運賃水準は小幅ながら低下方向に動くと思われる。

内航コンテナ・RORO運賃の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	30	7	93	0	7	35	0	97	3	△3	35	0	97	3	△3	
繊維・衣服	6	0	100	0	0	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0	
木材・家具	8	12	88	0	12	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0	
パルプ・紙	19	5	84	11	△6	21	10	76	14	△4	21	10	80	10	0	
化学・プラスチック	60	3	95	2	1	57	4	91	5	△1	57	5	88	7	△2	
窯業・土石	6	33	50	17	16	10	10	70	20	△10	10	10	70	20	△10	
鉄鋼・非鉄	28	4	89	7	△3	28	0	93	7	△7	28	0	93	7	△7	
金属製品	12	0	100	0	0	14	0	93	7	△7	14	0	100	0	0	
一般機械	32	0	100	0	0	33	3	94	3	0	33	3	91	6	△3	
電気機械	30	0	100	0	0	36	0	100	0	0	36	0	100	0	0	
輸送用機械	29	3	87	10	△7	26	4	96	0	4	26	8	84	8	0	
精密機械	11	0	91	9	△9	13	0	92	8	△8	12	0	92	8	△8	
その他	26	8	92	0	8	22	0	100	0	0	22	0	95	5	△5	
計	297	4	93	3	1	313	2	94	4	△2	312	3	92	5	△2	
卸売業	生産財	9	0	100	0	0	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11
	消費財	16	0	100	0	0	10	0	90	10	△10	10	10	80	10	0
	計	25	0	100	0	0	19	0	89	11	△11	19	5	84	11	△6
合計	322	4	93	3	1	332	2	93	5	△3	331	3	91	6	△3	

(5) 国内航空運賃

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、輸送用機械など5業種がプラス、繊維・衣服など7業種がゼロ水準で、化学・プラスチック、電気機械、精密機械の3業種がマイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期(2015年10～12月)実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 2016年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、一般機械およびその他の製造業がマイナスに沈む一方、消費財卸がプラスに浮上し、化学・プラスチックもゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス2と強含み横ばいで推移する見通しで、運賃水準はわずかながら上昇するとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	25	16	80	4	12	26	8	92	0	8	26	12	88	0	12	
繊維・衣服	8	12	88	0	12	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0	
木材・家具	8	0	100	0	0	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0	
パルプ・紙	3	33	67	0	33	4	25	75	0	25	4	25	75	0	25	
化学・プラスチック	41	5	93	2	3	38	0	97	3	△3	37	3	94	3	0	
窯業・土石	6	0	100	0	0	10	10	90	0	10	10	10	90	0	10	
鉄鋼・非鉄	22	0	100	0	0	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0	
金属製品	16	0	100	0	0	18	0	100	0	0	16	0	100	0	0	
一般機械	44	0	100	0	0	45	2	96	2	0	45	2	94	4	△2	
電気機械	53	6	92	2	4	59	2	93	5	△3	59	2	95	3	△1	
輸送用機械	30	0	97	3	△3	30	7	90	3	4	30	7	90	3	4	
精密機械	17	0	88	12	△12	18	0	89	11	△11	18	0	94	6	△6	
その他	23	0	96	4	△4	21	0	100	0	0	21	0	95	5	△5	
計	296	4	94	2	2	310	3	94	3	0	307	3	94	3	0	
卸売業	生産財	13	8	92	0	8	15	7	93	0	7	15	7	93	0	7
	消費財	14	7	93	0	7	13	0	100	0	0	13	8	92	0	8
	計	27	7	93	0	7	28	4	96	0	4	28	7	93	0	7
合計	323	4	94	2	2	338	3	95	2	1	335	4	94	2	2	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 2016年1～3月実績（見込み）の『料金動向指数』は、金属製品および精密機械がマイナス、木材・家具および電気機械がゼロ水準で、残り11業種がプラスを示した。業種全体の『料金動向指数』はプラス4で、前期（2015年10～12月）実績から2ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『料金動向指数』見通しでは、木材・家具がプラスに浮上する一方、その他の製造業がマイナスに沈み、繊維・衣服および鉄鋼・非鉄もゼロ水準に下降する。業種全体の『料金動向指数』はプラス3と弱含み横ばいの推移が見込まれ、料金水準の上昇圧力はわずかながら弱まるとみられる。

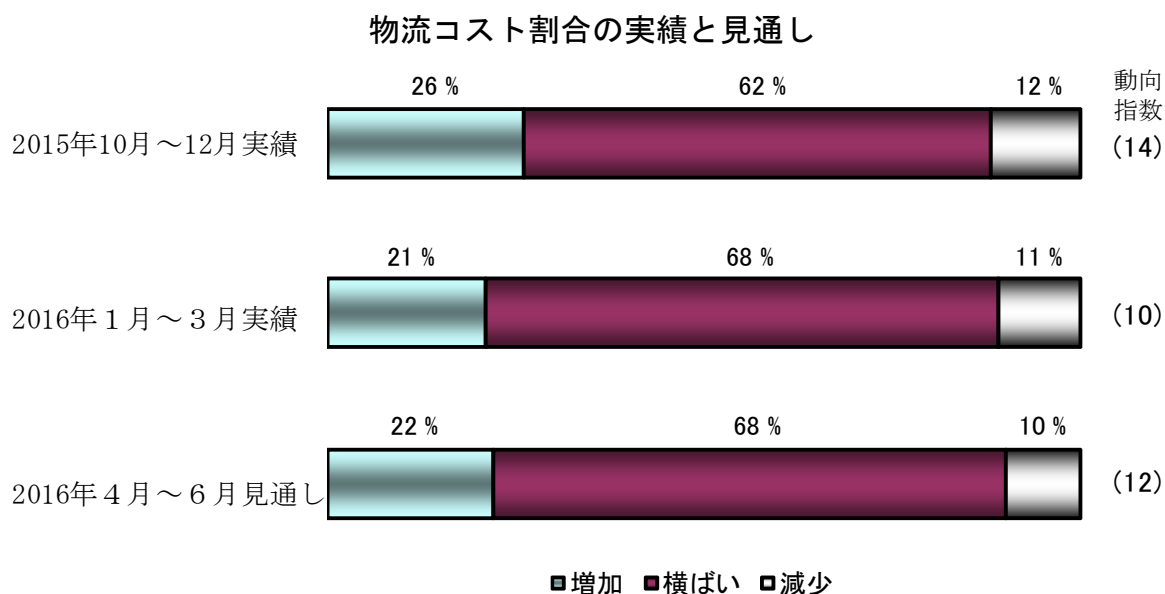
営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	67	19	78	3	16	75	12	88	0	12	75	13	86	1	12	
繊維・衣服	13	8	92	0	8	15	13	87	0	13	15	7	86	7	0	
木材・家具	23	9	91	0	9	22	0	100	0	0	22	5	95	0	5	
パルプ・紙	32	6	94	0	6	33	9	91	0	9	33	9	91	0	9	
化学・プラスチック	90	8	90	2	6	86	3	95	2	1	85	5	93	2	3	
窯業・土石	17	12	82	6	6	21	5	95	0	5	21	10	90	0	10	
鉄鋼・非鉄	57	5	91	4	1	62	3	95	2	1	62	2	96	2	0	
金属製品	26	4	92	4	0	23	0	91	9	△9	22	0	91	9	△9	
一般機械	63	5	94	1	4	65	3	97	0	3	65	5	93	2	3	
電気機械	68	3	97	0	3	75	0	100	0	0	75	1	98	1	0	
輸送用機械	63	5	92	3	2	59	5	93	2	3	59	3	95	2	1	
精密機械	11	0	82	18	△18	15	0	93	7	△7	15	0	93	7	△7	
その他	42	7	91	2	5	37	3	97	0	3	37	3	92	5	△2	
計	572	7	91	2	5	588	4	95	1	3	586	5	93	2	3	
卸売業	生産財	27	15	85	0	15	30	7	93	0	7	30	7	93	0	7
	消費財	29	7	93	0	7	24	8	88	4	4	24	13	83	4	9
	計	56	11	89	0	11	54	7	91	2	5	54	9	89	2	7
合計	628	8	90	2	6	642	5	94	1	4	640	5	93	2	3	

ー 7. 物流コスト割合の動向ー

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2016年1～3月実績（見込み）の『動向指数』は、マイナスの業種は皆無で、すべての業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス10で、前期（2015年10～12月）実績から4ポイント低下した。

■ 2016年4～6月の『動向指数』見通しでは、その他の製造業がマイナスに沈む一方、過半数の業種において上昇する。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス12と2ポイント上昇する見通しで、物流コスト割合の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。



物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2015年10月～12月実績					2016年1月～3月実績					2016年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食料品・飲料	107	37	58	5	32	107	27	63	10	17	107	28	62	10	18
繊維・衣服	38	21	71	8	13	36	19	70	11	8	36	19	73	8	11
木材・家具	39	31	62	7	24	41	27	66	7	20	41	17	76	7	10
パルプ・紙	43	19	65	16	3	47	26	62	12	14	47	26	60	14	12
化学・プラスチック	117	26	64	10	16	112	17	71	12	5	111	16	72	12	4
窯業・土石	35	23	63	14	9	41	27	63	10	17	41	24	74	2	22
鉄鋼・非鉄	96	21	65	14	7	103	15	74	11	4	103	17	71	12	5
金属製品	57	28	60	12	16	56	14	75	11	3	55	22	75	3	19
一般機械	96	20	69	11	9	92	15	78	7	8	92	17	72	11	6
電気機械	120	23	63	14	9	119	24	60	16	8	119	19	69	12	7
輸送用機械	97	15	65	20	△ 5	104	22	67	11	11	104	23	64	13	10
精密機械	27	19	70	11	8	27	15	78	7	8	27	19	78	3	16
その他	60	32	53	15	17	61	20	62	18	2	61	15	69	16	△ 1
計	932	24	64	12	12	946	20	68	12	8	944	20	69	11	9
卸売業															
生産財	47	40	56	4	36	49	20	72	8	12	49	27	67	6	21
消費財	56	34	54	12	22	52	27	67	6	21	52	44	54	2	42
計	103	37	54	9	28	101	24	69	7	17	101	36	60	4	32
合計	1,035	26	62	12	14	1,047	21	68	11	10	1,045	22	68	10	12